

大雨による災害への備えを しっかり確認しましょう！



▲平成24年7月13日に発生した急傾斜地のがけ崩れ現場（北多久町）
平成24年7月14日撮影



▶北多久町原口地区林道崩落現場（平成24年7月14日撮影）

近年、短時間で局地的なゲリラ豪雨や台風接近による大雨などで甚大な被害が発生するケースが全国で多く見られます。記憶に新しいものでは、昨年8月20日に広島市で発生した土砂災害があります。断続的に降り続いた雨が、明け方に局地的な短時間大雨となり土砂崩れが発生しました。

この災害では、住宅地で発生したこともあり、全壊133棟、半壊122棟、一部損壊175棟、死者は74人にのぼりました。この日多久市でも3時間に100mm以上の降雨量が記録され、一部の地区で土砂崩れが発生しましたが、幸いにも人的被害はありませんでした。

このような災害の被害を最小限にとどめるため、日頃から災害への備えが大切です。

大雨で恐ろしい

土砂災害に警戒！



地域を確認！

土砂災害警戒区域、避難所などを確認しておきましょう

多久市内では、土砂災害警戒区域の調査が完了しています。平成27年度中には区域指定の手続きが完了する予定です。

区域指定が完了した土砂警戒区域は佐賀県のホームページで確認できます。

❖佐賀県河川砂防課「安図くん」URL <http://anzu.pref.saga.lg.jp/>

情報を収集！

大雨などの気象情報や避難勧告などの防災情報に注意しましょう

多久市では、以下の方法で情報を提供しています。

○防災行政無線、緊急速報メール、ケーブルテレビなど

【注意】緊急速報メールは、携帯電話所有者へ強制的にメールを配信するサービスです。

突発的なメールが送られますので、ご注意ください。

○多久市防災メール ぜひ登録をお願いします

○多久市ホームページ <https://www.city.taku.lg.jp/>

早めの避難！

危険を感じたら速やかに避難しましょう

土砂災害は、発生する前に前触れがある場合があります。

避難には「避難所などへの避難」と「屋内安全確保」があります。

土砂災害は、避難所などへの避難が基本です。

緊急のときは崖から離れた2階以上の部屋に避難しましょう。

土砂災害から身を守る
ために知っておこう！

